

解説：

画像は過去の医師国家試験問題より拝借した。心電図では心房細動が見られる。心肥大もあり、左心房の血栓が左中大脳動脈の頭頂葉を灌流する部分に塞栓がおこったと考えられる。

左頭頂葉に障害が起こると、失算、失書、左右失認、手指失認が見られる。この4主徴をゲルストマン症候群という。

起床時の脳梗塞で発症時間が不明な場合は、拡散強調画像と FLAIR 画像に不一致がある場合のみ血栓溶解療法の適応となる。この場合 FLAIR 画像で既に梗塞像が出現しているので、抗凝固療法が適応となる。

正解 a, b, b

---